



# がい数

## がい数のたし算とひき算の文章問題 (8)

年 組 名前

次の問題に答えましょう。

- 1 2023年と2024年の日本の<sup>しゅっしょうすう</sup>出生数を調べると、下の表のようになりました。

	<sup>しゅっしょうすう</sup> 出生数(人)
2023年	727288
2024年	686061

- ① それぞれの<sup>しゅっしょうすう</sup>出生数を<sup>し しゃ ご にゆう</sup>四捨五入して、上から2けたの<sup>やく</sup>がい数にし、約何万人と表しましょう。

2023年 ( )

2024年 ( )

- ② 2023年と2024年の<sup>しゅっしょうすう</sup>出生数のちがいは、<sup>やく</sup>約何万人ですか。がい算で<sup>もと</sup>求めましょう。

(式)

(答え)

- 2 ある年の<sup>おおいた</sup>大分県の小学生の人数は53456人、中学生の人数は28716人でした。

- ① 小学生と中学生の人数は<sup>やく</sup>約何万何千人といえますか。<sup>し しゃ ご にゆう</sup>四捨五入して、<sup>くらい</sup>千の位までの<sup>やく</sup>がい数で表しましょう。

小学生 ( )

中学生 ( )

- ② 小学生と中学生を合わせた人数は、<sup>やく</sup>約何万何千人ですか。がい算で<sup>もと</sup>求めましょう。

(式)

(答え)

- ③ 小学生と中学生ではどちらが<sup>やく</sup>約何万何千人多いといえますか。がい算で<sup>もと</sup>求めましょう。

(式)

(答え)